MINO

CORPORATE PROFILE

TOMORROW'S CERAMICS

セラミックスで未来を創る



暮らしを支える技術と製品

美濃窯業の事業領域や技術・製品は、
素材産業として「人々の暮らしと技術（テクノロジー）」を支えています。

ここにMINOあり！

道路舗装用機能性カラー骨材



セメント・石灰
製造設備向け定形耐火物

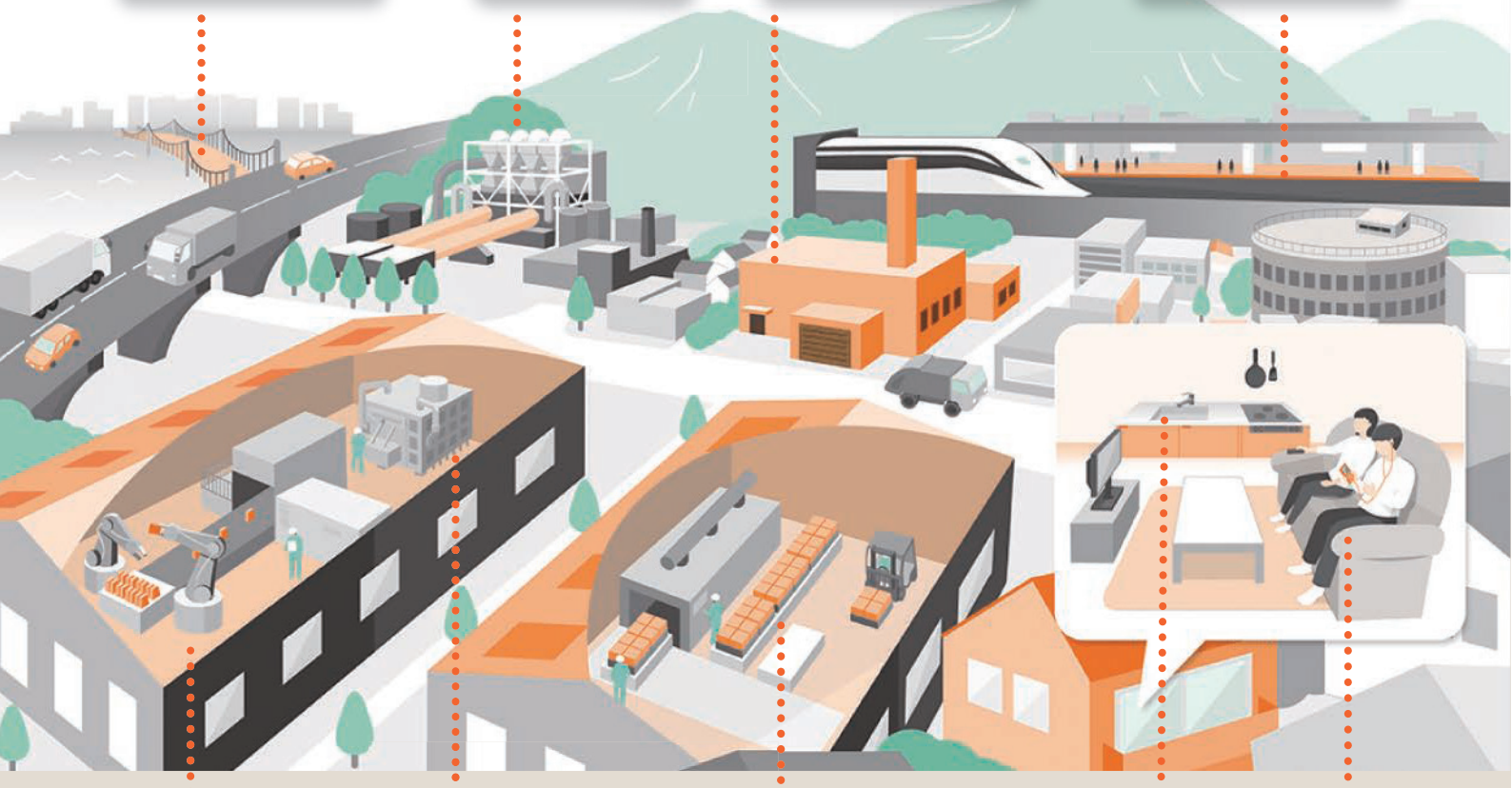


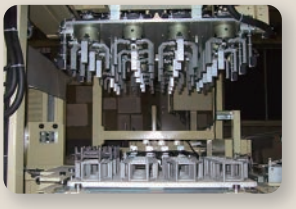
環境プラント向け不定形耐火物



駅ホーム向けセラミック・樹脂舗装







自動化・省人化装置



熱処理・工業炉



機能性セラミックス材料



電子部品向け焼成道具

MESSAGE ごあいさつ

「最高の品質こそ最大のサービス」

これが美濃窯業を支える企業ポリシーです。

1918年（大正7年）の創業以来、当社は「セラミックス」を技術の基礎とし、「最高の品質こそ最大のサービス」を企業ポリシーとして陶磁器の製造販売からセメント、鉄鋼をはじめとする高温高熱を必要とする基幹産業へ、その時々のニーズに応じた高品質の耐火物ならびにサービスを提供することを社会的使命として事業展開を図り、主として日本の重工業の発展を支えてまいりました。

現在は、主にセメント業界向け耐火物を中心とする「耐火物事業」、耐火物製造技術から派生、発展させた各種工業用炉の設計・施工を中核とした「プラント事業」、道路の滑り止め舗装やカラー舗装といった景観材及び工場等の塗床材を中核とした「建材及び舗装用材事業」の3事業を核に、ニューセラミック製品の製造、さらには各種セラミックス材料の調達・加工販売など、セラミックスに関連する技術・ノウハウをコア技術とし、幅広い産業分野に関連した独自の企業集団を形成しています。

今後は、耐火物で培ってきた技術、生産力、人材などの資源を糧にして、耐火物分野で独自性をより一層高めるとともに、「セラミックス・耐火物事業」へのモデルチェンジを推し進め、「プラント事業」のさらなる拡大ならびに「建材及び舗装用材事業」等の非耐火物分野の育成強化によりグループ全体をバランスのとれた集団とすべく発展を図ってまいります。

そして、世界市場で通用する強力な特長、個性を備えたセラミックス企業集団を目指し、技術・品質・サービス・コストなど全ての面において改革を実行し、企業体質の強化と継続的な企業価値の向上に取り組み、企業集団全体として幅広く社会に貢献してまいります。

代表取締役　社長
太田滋俊





常に先を考える
思考回路。

私たち美濃窯業の源流であるセラミックスの世界。

この古くて新しいモチーフは、常に革新を求め、

私たちに独自の視点、独自の技術を要求してきました。

それゆえ、常に先を見越した、先を見つめた斬新な思考こそが、

美濃窯業の新しい道を切り開く唯一の術。

私たちの、常に先を考える伝統はこうして培われてきました。

技術開発と先見性で、
セラミックス・耐火物事業への躍進を続けています。

美濃窯業は、セメント・石灰業界を中心に非鉄、環境プラント、再生可能エネルギー、鉄鋼、ガラス、化学、電極、電子製品など様々な業界に耐火物を提供しております。美濃窯業の耐火物は、素材や電子部品等のメーカーを通して、スマートフォンやPCなどの電子製品、自動車、飲食缶、食器など身近な製品を支えています。セメント、石灰、ガラスやセラミック部材の製造では、耐火物が必要不可欠です。美濃窯業は、あらゆる使用条件に応じた耐火物を提供することで、みなさまの暮らしを支えています。

REFRACTORIES 耐火物



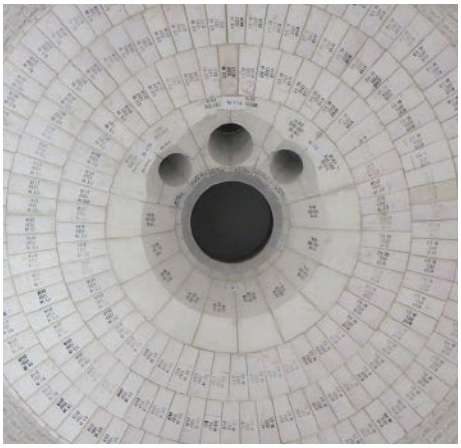
使用用途 各種素材メーカー、高温の熱処理工程

製品 定形耐火物、不定形耐火物

業種 セメント、石灰、環境プラント、鉄鋼、非鉄金属、ガラス、紙・パルプ

主な対応分野 セメント製造設備の定形耐火物・不定形耐火物、
石灰焼成設備、ガラス溶解設備、各種製錬炉、銅転炉、
廃棄物焼却設備、廃棄物溶融設備の定形耐火物、不定形耐火物

ENGINEERING エンジニアリング部門



事業内容 工業炉に関する炉材エンジニアリング、
ロータリーキルンのメンテナンス、
FLSmidth Cement 社日本販売店業務

事例 セメント：セメントロータリーキルン、プレヒーター、クーラー等
石灰：ベッケンバッハ炉、シャフト炉、コマ炉、メルツ炉、
ロータリーキルン等
廃棄物処理：ストーカー炉、ロータリーキルン式溶融炉、
ガス化溶融炉、各種ボイラ等

業種 セメント、石灰、廃棄物処理、紙・パルプ、非鉄金属、各種窯業

特徴 定形および不定形耐火物の施工、炉材設計・施工・改善提案、
オンリーワンの炉材エンジニアリング

NEW CERAMICS ニューセラミックス



使用用途 焼成用道具材（電子部品、二次電池、燃料電池、各種セラミックス原料等）、
半導体製造装置用部品、各種セラミックス部品　ほか

製品事例 電子材料等焼成用セッター、メカニカルシール部材、
小型セラミックス部品

業種 エレクトロニクス分野、ファインケミカル分野、セラミックス分野等

主な対応分野 各種焼成工程の脱バインダー、温度分布の改善・焼成高速化、
軽量化による燃費改善、反応防止材、半導体製造装置



現状に満足しない
チャレンジ精神。

プラントの設計・製造の面白さは、
提供先のビジネスの成長に直結するだけに格別です。
それだけに、ほかの新しい視点はないか、
まったく違う方向性が見出せるのではないか、
常に原点に立ち戻って新しい道を探し出すチャレンジ精神、
冒険心が、私たちの先に進む原動力です。

総合的な技術力が試されるプラント事業。
より広く裾野を拡大しています。

美濃窯業プラント部は1958年に発足以来、ファインセラミックス、化学原料、自動車部品、電子部品、炭素製品、ガラス製品、産業廃棄物等のあらゆる分野で、熱処理・工業炉および自動化・省人設備の販売を行ってきました。

近年では、自動車部品関係の自動製造プラントに進出し、原材料設備全般、自動搬送などのマテハン関係全般、各種部品の自動製造ライン一式、廃棄物処理及びリサイクルプラントなどの一貫プラントを数多く納入しています。

CECD プラント部門 (Ceramic Engineering and Construction Department)

炉種 バッチ炉、連続炉(台車式・ローラーハース・メッシュベルト・ロータリーキルン※) ※グループ会社・岩佐機械工業の製品

熱源 ガス(LNG、LPG)、電気、オイル(灯油、A重油等)、マイクロ波

業種 ファインセラミックス(半導体、自動車、電子)化学産業、炭素製品産業、ガラス産業、産業廃棄物、耐火物等

主な対応分野 自動車部品関係の自動製造プラント、原材料設備全般、マテハン関係全般、各種部品の自動製造ライン一式、廃棄物処理及びリサイクルプラント　ほか


低濃度PCB処理設備


高温シャトルキルン


耐火物製造自動化プラント


台車式焼鈍炉



飽くなき探究心が
見出す未来。

たとえば、新幹線のホーム。

その足元に広がるのは、美濃窯業の技術です。

滑りにくい、摩耗しにくい、衝撃にも強い—。

とことん突き詰めて考える探究心が生み出す技術は、

応用範囲も無限大。探究心という小さな種を育てる核心は、

未来を切り開いていきたいという大きな心なのです。

MINOの技術が人々のすぐそばに。
都市景観エンジニアリング。

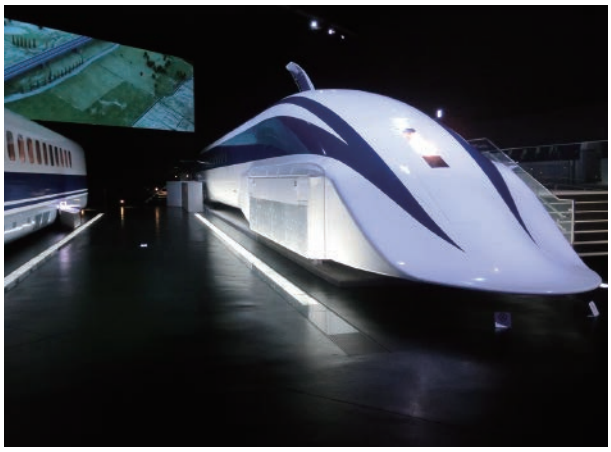
グループ会社の美州興産では、環境に適合、都市美にマッチした建材および舗装用材の開発と製品化を行っています。
建材は、工場・オフィス・公共建造物、鉄道施設などの床材に関してのあらゆるニーズに対応できる材料を備えています。

舗装用材は、一般道・高速道で求められる交通安全対策市場、鉄道施設・遊歩道・公園・テーマパークなどで要求される景観舗装・機能舗装まで幅広い領域で社会に貢献しています。

Flooring and Paving materials 建材および舗装用材

- **使用用途** 各種工場・公共建造物・一般道・高速道路・鉄道関連施設
- **事例** 各種工場塗り床・すべり止め舗装・鉄道施設・景観舗装
- **業種** 特殊舗装材料/建築材料の製造販売・工事一式
- **主な取引先** ゼネコン、工務店、道路・舗装会社




タフコン（無機系硬質耐久床）


セラレジン UW（水硬性ウレタンコンクリート床）

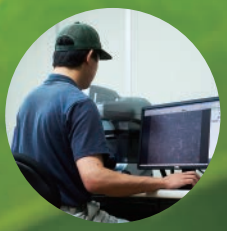

セラサンド（すべり止め舗装・カラー舗装）


セラサンドHW-N（明色舗装・高耐久舗装）

人を、社会を見つめる
温かい眼。

私たちの研究開発をする上での立ち位置は明確です。
人の営みを快適にする、環境を大切にしていく、
資源・エネルギーを大切にして無駄に使わない—。
常に、人間を、地球を尊重し、温かい視点を持ちたい。
そうした研究開発が、新しい未来を切り開いていく
大きなパワーになると信じています。







エキスパート集団による研究開発で
オンリーワンの新技術を追い求めています。

セラミックス・耐火物に関する技術とノウハウをコアに、無機材料全般に渡る原料処理、成形、焼成、製品全てに対する技術ソリューションを研究開発の対象とし、世界でオンリーワンの新技術を追い求めています。

セメント業界向けを始めとする信頼と実績の耐火物に留まらず、独自・多様な技術で新しいニーズやSDGs、CO_2排出量低減に応えられるセラミックス製品の研究開発をしています。

特に新分野向けセラミックス・耐火物製品には、従来製品の製造において培われた技術のみでなく、最新鋭の研究設備の駆使と外部研究機関との連携を基に付加された高度な製造技術が活きています。

近年では、環境に配慮した遮熱・高耐久性・速硬性などの機能を持ち、都市デザインの創造にも大きな役割を果たす舗装材料の開発も行なっています。

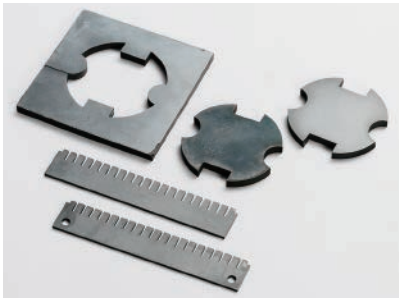




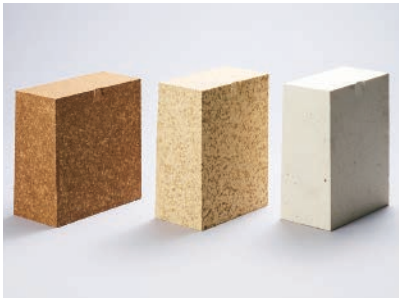
DEVELOPED PRODUCTS 開発製品



非酸化物セラミックス系摺動部材



放電加工可能な非酸化物系セラミックス



セメントロータリーキルン用
高機能クロムフリー塩基性れんが



キルンファニチャー



ゲルボンドキャスタブル



多孔質セラミックス



次の100年に続く
匠の技と意思。

セラミックス。多分野。ニッチ。最高品質。

美濃窯業を象徴するこれらのキーワードは、

私たちの未来を映し出す強い光でもあります。

強さの源泉は、原点を見失わないこと。

持てる技術と、持つべき技術を切磋琢磨して

50年先、100年先に繋げていきたいと考えています。

会社沿革



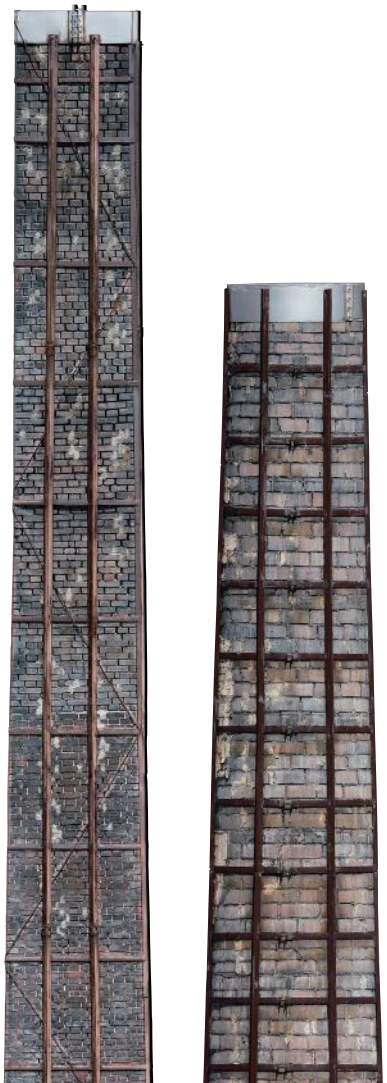
瑞浪工場遠景　1925年（大正14年）



創立10周年記念撮影　1928年（昭和3年）



四日市工場成形場　1960年（昭和35年）



1918年　前身である瑞浪耐火煉瓦合資会社を継承し、美濃窯業株式会社を岐阜県土岐郡瑞浪村（現・岐阜県瑞浪市）に設立
　　耐火煉瓦および耐酸煉瓦の製造を始める
1919年　陶磁器製造を開始
1928年　創立10周年記念
　　合資会社三和窯業商会内に東京出張所を開設
1937年　亀崎工場を愛知県半田市に新設
1942年　中央珪石煉瓦株式会社を合併し、四日市工場と四国（鳴門）工場を加え4工場体制となる
1946年　名古屋出張所（旧名古屋営業所）を開設
1948年　四国（鳴門）工場を同市中学校新設のため譲渡し、現在の3工場体制となる
1949年　名古屋証券取引所市場第二部（現：メイン市場）に上場
1953年　美州興産株式会社を設立
1958年　築炉部（後のプラント部）を設置
1960年　陶磁器製造部門を分離し、美濃窯業製陶株式会を設立
1966年　日本セラミツクエンジニヤリング株式会社を設立
1970年　合弁会社G.S.CERAMICS CO.,LTD.を設立
1975年　西独Didier-Werke AGとロータリーキルンの煉瓦施工装置について技術提携
1976年　スピネル系耐火物「MIC」を開発
1977年　合弁会社REFRACTORIES CORPORATION OF THE PHILIPPINESを設立
　　米国North American Refractories Companyと技術提携（クロスライセンス）
1982年　ニューセラミックス研究部門の設備充実と研究開始
1986年　亀崎モノリスエンジニアリング部を設置
1988年　スーペリオキルンの完成
1991年　資本金8億7700万円に増資
　　メキシコ Refractarios Mexicanos S.a. de C.v.に塩基性耐火物の技術供与
1995年　瑞浪本社事務所、プラント組立工場の新築
　　イランPars Refractories Co.へ塩基性耐火煉瓦プラントならびに製造技術輸出
1998年　第53回日本セラミックス協会賞（功労賞）を受賞
　　ミャンマーに塩基性煉瓦の製造技術輸出
2001年　（公社）日本セラミックス協会より「クロムフリーれんが」が技術賞を受賞
2002年　品質マネジメントシステムIS09001の認証取得
2006年　「元気なモノ作り中小企業300社」に選定
　　中部科学技術センターより「奨励賞」を受賞
2007年　経済産業省の「ものづくり日本大賞」の優秀賞を受賞
2014年　美濃窯業製陶株式会社およびモノリス株式会社を吸収合併
　　瑞浪工場の角型煙突が国の「登録有形文化財(建造物)」に登録
2015年　日本セラミツクエンジニヤリング株式会社を連結子会社化
　　高温用高効率熱交換器を開発
2017年　経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定
2018年　創立100周年を迎える
　　美州興産株式会社を完全子会社化
　　（公社）日本セラミックス協会より「炭化ホウ素製高性能スピーカー用振動板」が技術賞を受賞
　　日本高圧力学会より「功労賞」を受賞
2019年　創立100周年事業の一環としてCIを変更
2021年　文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」を受賞
　　岩佐機械工業株式会社を完全子会社化
2022年　大阪営業所を名古屋営業所に統合
　　株式会社ビヨーブライト、ミノセラミックス商事株式会社及び日本セラミツクエンジニヤリング株式会社を吸収合併
2024年　東京証券取引所スタンダード市場に上場



瑞浪工場の角型煙突ならびに丸型煙突は、有形文化財に登録されています。



デジタルシフトで築く ビジネスフィールド。

創業から100余年。

私たちは社会、経済、環境の変化にいち早く対応することで、

盤石な企業体制を構築してまいりました。

この柔軟な「変革」こそが美濃窯業の持ち味。

今後もデジタルを軸とした変革と、さらなるグローバル化により、

強靭かつ革新的なセラミックス・耐火物メーカーとして邁進します。

会社概要

名　　称	美濃窯業株式会社（MINO CERAMIC CO.,LTD.）
設　　立	1918（大正7）年8月14日
所 在 地	本　　社：岐阜県瑞浪市寺河戸町719番地
	本社事務所：愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
電　　話	052-551-9221（代表）
資 本 金	8億7,700万円
従業員数	連結：331名、単体：263名（2024年3月期）
事業内容	耐火物および耐火材料の製造販売
	工業窯炉および付帯品の設計・製作・施工・販売
	熱処理・自動化プラントの設計・建設
	建築材料および舗装用材の製造・施工・販売
	工業用セラミックス製品の製造販売
決 算 期	3月31日
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場
	名古屋証券取引所メイン市場

本　　社	〒509-6121　岐阜県瑞浪市寺河戸町719	TEL 0572-68-2106	FAX 0572-68-3149
本社事務所	〒450-0003　愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-28	TEL 052-551-9221	FAX 052-551-9231
東京営業所	〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-16	TEL 03-3291-1711	FAX 03-3293-0346
名古屋営業所	〒450-0003　愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-28	TEL 052-551-9223	FAX 052-551-9231
九州営業所	〒802-0006　福岡県北九州市小倉北区魚町1-4-21魚町センタービル5階	TEL 093-551-3553	FAX 093-522-4942
瑞浪工場	〒509-6121　岐阜県瑞浪市寺河戸町719	TEL 0572-68-2106	FAX 0572-68-3149
亀崎工場	〒475-0027　愛知県半田市亀崎北浦町1-46	TEL 0569-28-0216	FAX 0569-28-2988
四日市工場	〒510-0052　三重県四日市市末広町6-29	TEL 059-353-2136	FAX 059-353-2138
REエンジニアリング部	〒475-0027　愛知県半田市亀崎北浦町1-46	TEL 0569-28-2049	FAX 0569-28-2988
プラント部	〒509-6121　岐阜県瑞浪市寺河戸町719	TEL 0572-68-2108	FAX 0572-68-2100
NC部（亀崎生産課）	〒475-0027　愛知県半田市亀崎北浦町1-46	TEL 0569-28-0216	FAX 0569-28-2988
NC部（営業課）	〒509-6121　岐阜県瑞浪市寺河戸町719	TEL 0572-68-3148	FAX 0572-68-3149
技術研究所	〒475-0027　愛知県半田市亀崎北浦町1-46	TEL 0569-28-2019	FAX 0569-55-7411
マテリアル事業部営業課	〒509-6121　岐阜県瑞浪市寺河戸町719	TEL 0572-68-3636	FAX 0572-68-3149
マテリアル事業部山岡工場	〒509-7605　岐阜県恵那市山岡町原1532-8	TEL 0573-56-3107	FAX 0573-56-3190
海外事業部	〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-16	TEL 03-3291-6181	FAX 03-3293-0346



瑞浪工場



亀崎工場



四日市工場

関連会社

美州興産株式会社	〒450-0003　愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-28	TEL 052-551-9400	FAX 052-551-9231
岩佐機械工業株式会社	〒103-0004　東京都中央区東日本橋3-7-19　友泉東日本橋駅前ビル3階	TEL 03-3663-6333	FAX 03-3663-6400

美濃窯業株式会社
https://www.mino-ceramic.co.jp